

## 地区会開催

### ◆東京D地区会

平成26年2月7日、TKP東京駅前カンファレンスセンターにおいて、東京D地区会（代表幹事：古道義成 NECソフト(株)代表取締役 執行役員社長）が開催された。参加者52名。

冒頭、古道代表幹事から、会合スケジュールの紹介があり、本日の地区会におけるIT関連情報等を共有し、今後のビジネスに活かしていただきたい旨の挨拶があった。

続いて、経済産業省商務情報政策局情報処理振興課・臼田多郎係長から、経済産業省の情報政策について、サービス産業の生産性向上・高付加価値化に関する検討を行うため設置されたサービス政策研究会の紹介があった後、情報政策関連の平成26年度予算及び生産性向上を促す設備等投資促進税制の創設と中小企業投資促進税制の拡充・延長の概要について説明があった。

JISA河野副会長・専務理事から、最近の経済・業界動向(特サビ動態統計、DI調査、経済センサス活動調査、JISA基本統計)の説明の後、国際関係の活動、「自治体情報システムのクラウド化に向けて」、「社会保障・番号制度の円滑導入のために」等の提言活動、JISA Awards2014受賞記念講演会、SPES2014における経験報告・実践事業募集等、最近のJISA活動状況に関する報告とともに、平成26年度事業計画案に関する意見照会を3月上旬に広く会員各位に行う予定である旨の説明があった。

最後に、新日本有限責任監査法人・CSR推進部長、公認会計士の大久保和孝氏による『ソーシャルイノベーション戦略としてのCSRの取り組み』と題する講演が行われ、CSRへの取り組みは、環境変化を「自分事化」することであり、「他人事」を「自分事」化する力が組織を変えること、そのためには日頃からあらゆる物事を自分事化する習慣を身につけるおくこと等、戦略経営としてのCSRについて講話された。

### ◆東京C地区会

平成26年2月12日、八重洲富士屋ホテルにおいて、東京C地区会（代表幹事：船越真樹(株)インフォメーション・ディベロプメント代表取締役社長）が開催された。参加者は40名。

冒頭、船越代表幹事から、来賓及び会合のスケジュールの紹介があり、本日は、従来よりC地区会のフリーテーマであるダイバシティ&インクルージョンに関する講演を用意した旨の挨拶があった。

続いて、経済産業省商務情報政策局情報処理振興課・臼田多郎係長から、経済産業省の情報政策について、サービス産業の生産性向上・高付加価値化に関する検討を行うため設置されたサービス政策研究会の紹介があった後、情報政策関連の平成26年度予算及び生産性向上を促す設備等投資促進税制の創設と中小企業投資促進税制の拡充・延長の概要について説明があった。

JISA河野副会長・専務理事から、最近の経済・業界動向(特サビ動態統計、DI調査、経

済センサス活動調査、JISA基本統計)の説明の後、国際関係の活動、「自治体情報システムのクラウド化に向けて」、「社会保障・番号制度の円滑導入のために」等の提言活動、JISA Awards2014受賞記念講演会、SPES2014における経験報告・実践事業募集等、最近のJISA活動状況に関する報告とともに、平成26年度事業計画案に関する意見照会を3月上旬に広く会員各位に行う予定である旨の説明があった。

休憩をはさみ、日経BPヒット総合研究所所長・日経WOMAN前編集長の麓幸子氏による『～女性の力を最大限に生かす組織とは～』と題する講演が行われ、女性の力を生かす企業の事例を紹介しながら、女性活躍を推進するポイントとして、両立支援策と機会均等策を同時に行うこと、女性管理職を増やす鍵は初期キャリアにあり、初期キャリアの段階で、「心がしびれるような高揚感」や「一皮むける体験」を付与すること、男性管理職の意識や行動が重要であること、女性管理職を増やすには数値目標が必要であること等について講話された。

会議終了後、昨年同様、ピアノとフルートによるミニクラシックコンサート付きの懇親会が行われた。

#### ◆中部地区会

平成26年2月14日、名古屋観光ホテルにおいて、中部地区会（代表幹事：松尾榮一(株)中電シーティーアイ 顧問）が開催された。

参加者50名。

冒頭、松尾代表幹事から、来賓の紹介とともに、協会活動を通じた情報交換や政策提言により、業界の環境改善・業績改善等につながっていくことを期待している旨の挨拶あり、併せて6月のJISA定時総会をもって、理事(地区会代表幹事)を辞任したい旨の報告があった。

続いて、JISA原副会長(中部地区会担当、(株)リンクレア代表取締役会長)から、名古屋はビジネスに対しては厳しいところであると認識しているが、だからこそ、ものづくりの中心である中部を支えていると考えていること、JISAでは、ビジネス基盤強化委員会を担当おり、業界の営業力強化、サービス力をさらに高めていきたいこと、また、JISAも30周年を迎え、業界としてもJISAとしても、産業界はもとより真に世の中のお役に立つよう努めていく必要があると認識している旨の挨拶があった。

中部経済産業局地域経済部次長・正木明氏から、中部八ヶ岳構造創出戦略等の情報政策及び3月に開催される情報化セミナー「2014&IT経営カンファレンスin名古屋」の紹介があり、経済産業局の情報政策を活用し、地域雇用の増加につなげてもらいたい旨の挨拶があった。

経済産業省商務情報政策局情報処理振興課・柳田大介課長補佐から、経済産業省の情報政策について、サービス産業の生産性向上・高付加価値化に関する検討を行うため設置されたサービス政策研究会の紹介があった後、情報政策関連の平成26年度予算及び生産性向上を促す設備等投資促進税制の創設と中小企業投資促進税制の拡充・延長の概要について説明があった。

JISA河野副会長・専務理事から、最近の経済・業界動向(特サビ動態統計、DI調査、済センサス活動調査、JISA基本統計)の説明の後、国際関係の活動、「自治体情報システ

ムのクラウド化に向けて」、「社会保障・番号制度の円滑導入のために」等の提言活動、JISA Awards2014受賞記念講演会、SPES2014における経験報告・実践事業募集等、最近のJISA活動状況に関する報告とともに、平成26年度事業計画案に関する意見照会を3月上旬に広く会員各位に行う予定である旨の説明があった。

休憩を挟んで、沖縄県名古屋情報センターの鈴木企業誘致推進役から、沖縄県における情報通信産業立地について、経済特区に指定され、ICT産業の誘致に熱心な「うるま市」の概要について紹介があった。

引き続き、中日新聞社中日スポーツ総局局次長の斉田太郎氏による『中日ドラゴンズと米国野球事情』と題する講演会が行われ、中日ドラゴンズ担当とニューヨーク支局勤務の経験から米大リーグと日本のプロ野球のビジネス手法の相違等について講話された。

#### ◆関東地区会

平成26年2月18日、横浜ベイホテル東急において、関東地区会（代表幹事：梶本繁昌（株）アイネット 代表取締役社長）が開催された。参加者38名。

冒頭、梶本代表幹事から、来賓及び会議・講演プログラムの紹介があり、本日の講演会のテーマであるダイバーシティに関連し各社内の女性社員を活用して業界を活気づけていきたいこと、また、講演会等を通じ各社の事業発展の参考になれば幸いである旨の挨拶があった。

続いて、経済産業省商務情報政策局情報処理振興課・高浜広和係長から、経済産業省の情報政策について、サービス産業の生産性向上・高付加価値化に関する検討を行うため設置されたサービス政策研究会の紹介があった後、情報政策関連の平成26年度予算及び生産性向上を促す設備等投資促進税制の創設と中小企業投資促進税制の拡充・延長の概要について説明があった。

JISA河野副会長・専務理事から、最近の経済・業界動向(特サビ動態統計、DI調査、経済センサス活動調査、JISA基本統計)の説明の後、国際関係の活動、「自治体情報システムのクラウド化に向けて」、「社会保障・番号制度の円滑導入のために」等の提言活動、SPES2014における経験報告・実践事業募集、「働き方の改革と人材」のフォーラム等、最近のJISA活動状況に関する報告とともに、平成26年度事業計画案に関する意見照会を3月上旬に広く会員各位に行う予定である旨の説明があった。

休憩をはさみ、(株)Woomax コンサルタントの齋藤稚亜子氏による『なぜ今、女性活躍か？～ダイバーシティ戦略への1歩～』と題する講演が行われ、女性が求められる理由として、今後の経営課題である優秀な労働力の確保、女性の意欲の高まり、ダイバーシティとしての社風づくり、顧客ニーズへの対応、コンプライアンスと事前リスク回避としてのマーケット対応等を挙げ、企業の女性社員活躍成功例や女性活用メリットの紹介を通じ女性活躍を推進する必要性等について講話された。

(菊池)